

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ 回覧板秋号をお届けします！

リレー投稿『思うこと』-23-

イジメを憂えています

石川 儀孝

イジメを憂えています。

不登校の生徒数が過去最悪を記録したと最近の記事にありましたが、出社できない社会人も同じように増加しているというのを肌で感じます。

その背景にはイジメが大きく関わっていると思います。イジメの次に起こるのは不登校やうつ病、最悪の場合は死に至ります。

旭川市の中学生だった廣瀬爽彩さんが壮絶なイジメを受けた末に、雪の中から発見された事件は、悲しくて悲しくて言葉がありません。

なぜイジメがなくならないのか、ある方に聞いてみました。

1. 教育機関や家庭での適切な教育が行われていない場合、いじめの深刻さやその影響について理解が不足します。また、いじめの予防や対処方法についての知識が不足していることがあります。

2. 学校や家庭、地域社会におけるコミュニケーションが不足している場合、問題が見過ごされる傾向があります。大人と子供たちがオープンで健全な対話を持たない場合、いじめの兆候を見逃す可能性が高まります。

3. グループ内での承認欲求や仲間外れの恐れが、いじめの発生を助長することがあります。特定のグループや社会的な期待に適合しようとする心理的なプレッシャーが、いじめの原因となる場合があります。

4. いじめを行う者や被害者が心理的な問題を抱えている場合、その状況を解決することが難しくなります。心理的な不調があると、いじめを受けたり行ったりする可能性が高まる場合があります。

5. 家庭内での問題や不適切な教育環境が、いじめの原因となる場合があります。家庭が安定しておらず、愛情や理解が不足している場合、子供たちは自己肯定感を持ちにくくなり、いじめのリスクが高まります。

6. インターネットやソーシャルメディアの普及により、バーチャル空間でのいじめが増加しています。匿名性や拡散の速さが、いじめの被害者を特定しにくくし、対処を難しくしています。

7. いじめに対する適切な法的枠組みや制度が整っていない場合、いじめの報告や対処が遅れることがあります。また、効果的な処罰や再発防止策が不足している場合もあります。

8. 文化や価値観の影響：ある文化や地域では、いじめが一般的な行動として認識される場合があります。これにより、いじめが容認される雰囲気生まれ、減少が困難になります。

9. これらの要因が複雑に絡み合っており、単一の解決策でイジメを完全に減少させることは困難です。問題を解決するためには、教育、コミュニケーション、心理的支援、法的枠組みの強化など、多角的なアプローチが必要です。

以上、答えてくれたのは ChatGPT です。

なるほどね。という内容ですが、これじゃあイジメはなくならないですよ。根が深い。

県運営部・学習グループの活動状況など

◆自殺予防相談員育成講座（事例検討会） のご案内

期 日 R5年11月19日（日）
時 間 10時～12時（受付開始9時半～）
会 場 秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎
研修室1・2・3
講 師 メンタルクリニック秋田駅前院長
稲村茂先生
演 題 「働く人の主治医と産業医の経験から」
受講対象者 秋田県在住の会員・一般
受講料 無料
申込方法 ①電話 080-9259-6005
②メール jaico_akita@yahoo.co.jp
※氏名、住所、連絡先をお知らせください。
申込期間 R5年9月20日～11月12日

◆秋田ふれあいこまち会定例会

日 時 R5年8月20日 9時半～12時
会 場 秋田市中央市民サービスセンター
参加者 7名
担 当 藤原佳代子さん
テーマ 「社会人のためのメモを活用した
メンタルヘルスマネジメント」

日 時 R5年10月14日 9時半～12時
会 場 秋田市中央市民サービスセンター
参加者 8名
担 当 鎌田千昭さん
テーマ 「初心に戻り傾聴を考え実践してみよう」

◆秋田ふれあいこまち会/サキホコレ会合同 ワインカウンセリング

日 時 R5年9月23、24日 8時～
会 場 秋田駒ヶ岳（トレッキング）
かたまえ山森林公園コテージ
参加者 14名
担 当 高橋昌明さん
テーマ ①秋田駒ヶ岳トレッキング
②ワインをはじめお酒を飲みながら語り合おう
③岩谷拓郎ギターコンサート（みんなで歌おう）



◆サキホコレ会定例学習会

日 時 R5年8月6日 9時～
会 場 男女共同参画センター
参加者 4名
担 当 松井 崇さん
テーマ 「コロナ禍における福祉



現場の、産業カウンセラーとしての取り組み」
コロナへの対応が手探り状態であった3年前を振り返り、現場職員の心理状態を「マズローの欲求5段階」に当てはめ説明していただきました。自身の取り組みとしては、正確な情報を伝える、できる限り言葉を交わすよう心がける、陽性になり復帰した方には、特に声かけをされました。行動制限も厳しく、自身の気持ちの維持も難しくご苦勞されましたが、不安な状況の中、団結力が増したと感じられたそうです。☺☺☺☺☺☺

日 時 R5年9月3日9時～
会 場 かみおか嶽雄館
参加者 6名
担 当 津田 宏美氏



テーマ 「産業カウンセラーが
知っておきたいセカンドライフ」

キャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナーとして大活躍。お金と結びつけて、これからの生活をイメージすると、身に迫る感覚があり改めて、早めに見通しを立て資金計画を練る事の大切さを、教えて頂きました。身近な話題を取り上げ、年金については実際の金額を例に、受給開始年齢での違いはあるが、微妙である事。豊かなセカンドライフには、お金と健康・生きがいが必要であると、親しみやすいお人柄からか、笑いの中にも説得力のある濃厚な内容でした。

◆ふきのとう県民運動、秋田県、秋田市主催の「自殺予防キャンペーン」開催

日 時 R5年9月12日 7時から8時
場 所 JR秋田駅

参加者 県運営部員 佐藤紀子さん
毎年ボランティアで数名参加しておりましたが、今年は1名の参加となりました。昨年の県内自殺者数は209人で、3年ぶりに200人を超え、自殺率は22.6となり全国で最も高くなりました。県民運動委員長の精神科医稲村先生などと一緒にチラシ2000部を配布。大変お疲れ様でした。

秋田県運営部への問い合わせなどにご利用ください。

運営部長連絡先 080-9259-6005
メール jaico_akita●yahoo.co.jp

スパムメール防止のため、●を@に置き換えてご利用ください